

2026年度(令和8年度) 東京藝術大学美術学部 科目等履修生(一般) 募集要項

特定の研究目的をもって、本学部開設科目の履修を希望する者に対して、本要項の定めるところにより、選考のうえ履修を許可する。

1. 出願資格及び履修範囲

- (1) 高等学校卒業以上の学歴を有する者。
- (2) 前項と同等以上の学力があると大学が認めた者。
- (3) 履修できる科目は、別紙対象科目のうち、2単位以上12単位以内に限る。
- (4) 実技科目の履修は認めない。

※ 外国人志願者は、授業履修に支障のない日本語能力を有すること。

2. 募集人員 若 干 名

3. 選考方法 書類審査

4. 単位の認定 授業科目を履修し、所定の試験等を受け、合格した者には所定の単位を与える。
(同一科目・同一内容の単位再加算はしない。)

5. 履修期間 1年間 (2026年4月1日～2027年3月31日)

6. 出願方法等

① 出願方法	郵便受付のみ (大学に直接持参したものは受け付けない。)	
② 受付期間	2025年11月17日(月)～2025年12月5日(金) ※郵便局消印がこの期間内のものに限り受け付ける。	
③ 提出書類	(1) 科目等履修生願書	本学部所定の用紙
	(2) 最終学校の卒業(修了)証明書	本学部出身者は不要。
	※(2-2) 戸籍抄本1通(コピー可)	※ 改姓して証明書と現在の氏名が異なる場合のみ提出。
	(3) 写真	願書の所定欄に貼付すること。
	(4) 小論文	履修希望科目ごとに受講の目的等を2,000字以内にまとめ、提出すること。 (A4サイズ of 用紙を使用し、科目名・氏名を記入すること。)
	(5) 入学検定料収納証明書	「入学検定料収納証明書提出用紙」に貼付して提出すること。 (「7. 検定料の支払いについて」を参照のこと)
	(6) 返信用封筒	角型2号封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、180円切手を貼付すること。
④ 出願手続	提出書類を封筒に入れ、『美術学部科目等履修生願書在中』と表面に朱書し、受付期間内に書留郵便で送ること。 【送付先】 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学 美術学部教務係	

7. 検定料の支払いについて

金 額：9,800円

支払期間：2025年11月17日(月)～2025年12月5日(金)

支払方法：下記のいずれかの方法で、出願書類の提出に間に合うよう、余裕をもって支払うこと。

① コンビニエンスストアでの支払(◆日本国内から)

【支払可能な店舗】

セブンイレブン、ローソン、ミニストップ

【支払手続】

- ・上記店舗内にある端末から必要事項を入力し、発券される「払込票／申込券」を持って、30分以内にレジで支払うこと。
- ・支払後、レシートとチケット(「取扱明細書」もしくは「取扱明細兼領収書」)を受け取る。

【収納証明書の郵送】

コンビニエンスストアで支払いした際に受け取る「取扱明細書」もしくは「取扱明細兼領収書」の「収納証明書」の部分を切り取り、「入学検定料収納証明書提出用紙」の①欄に貼付して提出すること。

※ コンビニエンスストア内のATMによる振込は受け付けていないので、必ず指定の端末にて手続を行うこと。

② クレジットカードでの支払(◆日本国内から ◆日本国外から)

【支払手続】

- ・本学「入学検定料支払い」ページ (<https://e-apply.jp/n/geidai-net-research/>) にアクセスし、「お支払い」から出願する入試を選んだ後、基本情報を入力すること。
- ・入力内容を確認し、「受付番号(12桁)」を必ず控え、支払画面に進むこと。
- ・カード名義は出願者本人でなくても構わない。ただし、画面で入力する基本情報は、必ず出願者本人のものを入力すること。

【収納証明書の郵送】

支払い後に上記URLまたは支払完了メールに記載されたURLへアクセスし、「収納証明書の印刷」からPDFファイルをダウンロードのうえ、印刷すること。印刷した用紙は「入学検定料収納証明書提出用紙」の②欄に貼付して提出すること。

検定料支払に関する注意事項

- ・上記支払方法①②は、いずれも入学検定料の他に手数料が別途かかる。詳細は次頁の <入学検定料支払方法のご案内>を確認すること。
- ・①②のいずれの方法においても支払いが困難な場合は、出願に間に合うよう早めに下記まで相談のこと。

美術学部教務係 bijutsu.kyomukakari@ml.geidai.ac.jp

財務会計課経理係 kaikei-keiri@ml.geidai.ac.jp

<検定料の返還について>

次の場合を除き、いかなる理由があっても振込済みの検定料は返還しない。

- ① 検定料を振り込み、出願したが、受理されなかった場合
- ② 検定料を振り込んだが、出願に必要な書類を提出しなかった場合
- ③ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

<返還請求の方法>

本学所定の用紙「検定料返還請求願(研究生・科目等履修生用)」を本学入試情報サイトよりダウンロードし、必要事項を記入、「収納証明書」を添付して、以下まで郵送すること。

東京藝術大学財務会計課経理係 (〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8)

- ・大学から志願者への返還金額は、振込手数料を差し引いた金額となる。
- ・検定料支払時に発生した手数料は返還対象外である。
- ・「返還請求願」受領後、返還金の振込まで通常約2～3ヶ月を要する。
- ・返還請求願の提出期限は2026年3月31日(火)(消印有効)とする。期限までに提出がない場合、検定料は返還しない。

入学検定料支払方法のご案内

コンビニ端末でお申込みの場合(インターネット不要)

クレジットカードでお申込みの場合

1 お申込み



マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



学び・教育

入学検定料等支払



<https://www.lawson.co.jp>

<https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

学び・教育・各種検定試験

大学・短大・専門・小・中・高校等お支払い

<パソコン・スマートフォン>

*出願期間最終日のインターネットからのお申込みは23時までとなります。余裕を持ってご利用ください。

*PDFファイルを印刷するためのプリンターが必要となります。

本学「入学検定料支払い」ページにアクセス



<https://e-apply.jp/n/geidai-net-research/>



お支払い から

画面の指示に従って出願する入試を選んだ後、基本情報を入力。

入力内容が表示されます。間違いがなければ、次のページで表示される「受付番号(12桁)」を必ず控え、お支払い画面に進んでください。

※カード決済完了後の修正・取消はできません。申込を確定する前に、内容をよくご確認ください。

クレジットカードでお支払い



●お支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。但し、前段の画面で入力する基本情報は、必ず受験生本人のものを入力してください。



お支払い後に上記URLまたは支払い完了メールに記載されたURLへアクセス(※1)し、

収納証明書の印刷 から

PDFファイルをダウンロードの上、印刷してください。

※1:お申込の際に発行された「受付番号(12桁)」が必要です。



上記URLからアクセス

※PDFファイルを印刷するためのプリンターが必要となります。

2 お支払い

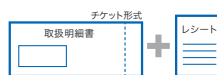
①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**



②お支払い後、チケットとレシートのお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「払込受領証」(Loppi)。



*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。

*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。

*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

3 出願

「取扱明細書」または「払込受領証」の「収納証明書」部分を切り取り、「入学検定料収納証明書提出用紙」に貼付して郵送してください。



貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

8. 履修の決定及び入学手続

履修の可否及び入学手続については、2026年3月上旬(予定)に大学から文書で通知する。

入学手続	2026年3月下旬(予定)		
諸経費	入学手続時	入学料	28,200円 (予定額) (入学手続完了後は、入学料の返還はしない。)
	入学後 4月(予定)	授業料	1単位につき14,800円 (予定額) (例:1科目2単位の場合/14,800円×2=29,600円)

※ その他の提出書類等、詳細については大学からの通知文で指示する。

※ [上野校地] 教室の場所 及び 授業時間割
・美術学部中央棟1・2階、総合工房棟B棟
・1限 9:00～10:30 2限 10:40～12:10 3限 13:00～14:30 4限 14:40～16:10 5限 16:20～17:50

科目によっては、時間割(曜日・時限・教室、開講形態(対面・オンライン))等が変更となる場合があるので、注意すること。

[授業期間] 前期:4月～7月 後期:10月～1月 学事暦等の詳細については、入学手続以降に通知する。

【注意事項】

- ・この募集要項発行後に諸経費が変更された場合は、変更後の額による。
- ・履修を許可された科目でも、事情により履修ができない場合は、履修生の申し出によりこれを取り消すことができる。
ただし、支払い済みの授業料等の返還はしない。

9. その他

- ・外国人については、履修が認められても在留資格(留学)には該当しない。
- ・科目等履修生には、学生旅客運賃割引制度(学割)は適用されない。
- ・単位修得者で証明書を必要とする者には、単位修得成績証明書を交付する。
本人からの申請により、成績発表日以降に交付する。
- ・前年度から引き続き履修を希望する者も改めて出願し、必要とする科目の履修の許可を得ること。
- ・履修を許可されていない科目については一切受講することは出来ない(聴講も含む)。
- ・この科目等履修生募集により本学が取得した個人情報、入学者選抜や合格者の入学手続に係わる業務以外には一切、使用しない。

以 上

◎ 個人情報の取扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律(以下「個人情報保護法」という。)により、本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係わる業務のほか、次のとおりとする。

1. 利用目的について

- (1) 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用する。
- (2) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用する。
- (3) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用する。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報が個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用する。

2. 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはない。

ただし、次の場合、必要最低限の情報を提供することがある。

- (1) 上記1. (1)～(4)の個人情報を取り扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合
- (2) 法律に基づく場合や本人の事前の同意がある場合

【美術学部科目等履修生募集に関する問合せ先】

東京藝術大学 美術学部教務係

TEL: 050-5525-2126

対 象 科 目

科 目 等							面 接	
整理番号	授 業 科 目 名	期間	担当教員	曜日	時限	単位	日 時	場 所
①－1	日本・東洋建築史Ⅰ	前期	光井 渉	金	3	2		
①－2	日本・東洋建築史Ⅱ	後期	光井 渉	金	3	2		
②	建築概論Ⅰ	前期	中山 英之	金	2	2		
③	建築概論Ⅱ	後期	樫村 芙実	金	2	2		
④－1	美学史概説Ⅰ	前期	川瀬 智之	金	4	2		
④－2	美学史概説Ⅱ	後期	川瀬 智之	金	4	2		
⑤	西洋美術史概説Ⅱ	前期	深田 麻里亜	火	3	2		
⑥	西洋美術史概説Ⅲ	後期	佐藤 直樹	火	3	2		
⑦－1	美学特講A	前期	林 卓行	月	5	2		
⑦－2	美学特講B	後期	林 卓行	月	5	2		

《小論文について》

履修希望科目ごとに受講の目的等を2,000字以内にまとめ、提出してください。

用紙はA4サイズとし、科目名・氏名を記入のこと。

○－1、○－2のように枝番号のある科目は、一つにまとめて提出することできません。

＜注意＞ 同一の授業時間割(曜日・時限)において、異なる授業を(重複)履修することはできません。

2026年度 科目等履修生(一般)
対象科目講義概要一覧

科目名	①－1 日本・東洋建築史Ⅰ	担当教員	光井 渉	学 期	前 期																
「日本・東洋建築史」は、日本列島で展開した建築と都市・集落について概観するもので、前期開講のⅠでは主に中世以前の宗教建築と都市について扱います。 講義はおおむね時代順に沿ったテーマを各回毎に設定し、代表的な建築作品等の紹介を通じて多種多様な建築の形の意味とその背景にある技術の在り方を考えていきます。 各回のテーマは下記のを予定しますが、進行状況に応じて適宜変更する可能性があります。 <table><tr><td>1 日本の建築(ガイダンス)</td><td>9 災害と復興(大仏様)</td></tr><tr><td>2 建築の誕生(原始住居の住居)</td><td>10 禅宗の建築(禅宗様)</td></tr><tr><td>3 美意識の誕生(神社建築の形式)</td><td>11 中世的世界の建築(密教建築)</td></tr><tr><td>4 技術と空間(飛鳥・奈良時代の寺院1)</td><td>12 上野台地に残る歴史的建築</td></tr><tr><td>5 空間の大型化と建築群(飛鳥・奈良時代の寺院2)</td><td>13 資料の調べ方</td></tr><tr><td>6 都市の誕生(平城京と平安京)</td><td>14 予備</td></tr><tr><td>7 都市住宅の形(御所と寝殿造)</td><td>15 予備</td></tr><tr><td>8 和様の感覚(平安時代の建築)</td><td></td></tr></table> ※教材(講義中に使用):光井渉・太記祐一『カラー版 建築と都市の歴史』(井上書院)を毎回の講義で使用する ので、必ず入手して持参すること ※参考図書:光井渉『日本の伝統木造建築』(市ヶ谷出版社) ※「日本・東洋建築史Ⅰ」と「日本・東洋建築史Ⅱ」を併せて履修すること						1 日本の建築(ガイダンス)	9 災害と復興(大仏様)	2 建築の誕生(原始住居の住居)	10 禅宗の建築(禅宗様)	3 美意識の誕生(神社建築の形式)	11 中世的世界の建築(密教建築)	4 技術と空間(飛鳥・奈良時代の寺院1)	12 上野台地に残る歴史的建築	5 空間の大型化と建築群(飛鳥・奈良時代の寺院2)	13 資料の調べ方	6 都市の誕生(平城京と平安京)	14 予備	7 都市住宅の形(御所と寝殿造)	15 予備	8 和様の感覚(平安時代の建築)	
1 日本の建築(ガイダンス)	9 災害と復興(大仏様)																				
2 建築の誕生(原始住居の住居)	10 禅宗の建築(禅宗様)																				
3 美意識の誕生(神社建築の形式)	11 中世的世界の建築(密教建築)																				
4 技術と空間(飛鳥・奈良時代の寺院1)	12 上野台地に残る歴史的建築																				
5 空間の大型化と建築群(飛鳥・奈良時代の寺院2)	13 資料の調べ方																				
6 都市の誕生(平城京と平安京)	14 予備																				
7 都市住宅の形(御所と寝殿造)	15 予備																				
8 和様の感覚(平安時代の建築)																					

科目名	①－2 日本・東洋建築史Ⅱ	担当教員	光井 渉	学 期	後 期																
「日本・東洋建築史」は、日本列島で展開した建築と都市・集落について概観するもので、後期開講のⅡでは主に中世以後の住宅建築と都市・集落、庶民住居について扱います。 講義はおおむね時代順に沿ったテーマを各回毎に設定し、社会的・技術的な背景とともに代表的な建築作品等を紹介し、現代の生活空間に継承されている多種多様な建築の形の意味を考えていきます。 各回のテーマは下記のものを予定しますが、進行状況に応じて適宜変更する可能性があります。 <table><tr><td>1 舗設から部屋へ(中世住宅)</td><td>9 村に暮らす(農村と農家)</td></tr><tr><td>2 もてなしの空間(座敷飾りと書院造)</td><td>10 専用住居の誕生(武家住宅)</td></tr><tr><td>3 綺麗と数寄(茶室)</td><td>11 賑わいの空間(近世寺社境内)</td></tr><tr><td>4 近世住宅の完成</td><td>12 江戸時代の近代化</td></tr><tr><td>5 戦乱と惣構(中世京都と土豪屋敷)</td><td>13 芸大周辺の歴史的建築見学</td></tr><tr><td>6 権力の象徴(城郭建築)</td><td>14 予備</td></tr><tr><td>7 現代都市の起源(城下町)</td><td>15 予備</td></tr><tr><td>8 町に暮らす(町並と町家)</td><td></td></tr></table> ※教材(講義中に使用):光井渉・太記祐一『カラー版 建築と都市の歴史』(井上書院)を毎回の講義で使用する ので、必ず入手して持参すること ※参考図書:光井渉『日本の伝統木造建築』(市ヶ谷出版社) ※「日本・東洋建築史Ⅰ」と「日本・東洋建築史Ⅱ」を併せて履修すること						1 舗設から部屋へ(中世住宅)	9 村に暮らす(農村と農家)	2 もてなしの空間(座敷飾りと書院造)	10 専用住居の誕生(武家住宅)	3 綺麗と数寄(茶室)	11 賑わいの空間(近世寺社境内)	4 近世住宅の完成	12 江戸時代の近代化	5 戦乱と惣構(中世京都と土豪屋敷)	13 芸大周辺の歴史的建築見学	6 権力の象徴(城郭建築)	14 予備	7 現代都市の起源(城下町)	15 予備	8 町に暮らす(町並と町家)	
1 舗設から部屋へ(中世住宅)	9 村に暮らす(農村と農家)																				
2 もてなしの空間(座敷飾りと書院造)	10 専用住居の誕生(武家住宅)																				
3 綺麗と数寄(茶室)	11 賑わいの空間(近世寺社境内)																				
4 近世住宅の完成	12 江戸時代の近代化																				
5 戦乱と惣構(中世京都と土豪屋敷)	13 芸大周辺の歴史的建築見学																				
6 権力の象徴(城郭建築)	14 予備																				
7 現代都市の起源(城下町)	15 予備																				
8 町に暮らす(町並と町家)																					

2026年度 科目等履修生(一般)
対象科目講義概要一覧

科目名	② 建築概論Ⅰ	担当教員	中山 英之	学 期	前 期
前半／建築設計を組み立てていく思考の多様性を、いろいろな角度から考えていきます。 後半／ 学生が建築をめぐる議論を広く知り、議論を行うことができるように解説を行います。 前半／中山 英之 1 イントロダクション 2 絵画と建築 3 写真と建築 4 映画と建築 5 ファッションと建築 6 童話や文学と建築 7 音楽や映像と建築 8 プロダクトデザインと建築 (順番や内容は変動します) 後半／藤村 龍至 9 意匠と建築 10 設計プロセスと建築 11 作家性と建築 12 社会と建築 13 技術と建築 14 思想と建築 15 建築家とはなにか					

科目名	③ 建築概論Ⅱ	担当教員	樫村 芙実	学 期	後 期
気候や文化的・政治的背景の異なる世界各地の多様な建築を幅広く扱い、素材・寸法・配置の中に潜む建築的アイデアや意味を明らかにすることで、先入観に囚われずに建築を読み解く力を養います。 1 イントロダクション 2 明るさ/暗さと建築 3 神聖さと建築 4 小ささと建築 5 地形と建築 6 新しさ/古さと建築 7 描くことと建築 8 「コンテキスト」と建築 (内容や順序は都合により変更となる場合があります) 9 暑さ/寒さと建築 10 広がりと建築 11 ひとり/集団と建築 12 貧しさ/豊かさと建築 13 最終課題 14 予備 15 予備					

2026年度 科目等履修生(一般)
対象科目講義概要一覧

科目名	④－1 美学史概説Ⅰ	担当教員	川瀬 智之	学 期	前 期
この授業では、西洋における美学の歴史を、古代ギリシアから近現代のドイツ・フランスに至る代表的な哲学者、美学者、芸術家の思想を紹介、解説することによって辿る。場合によっては、それらの思想と、特に近現代の芸術作品との関連についても論じる。それによって、西洋の古代以来の思想が、いかに芸術の制作や鑑賞に対して影響を及ぼしてきたかを理解することができる。具体的な計画は以下の通り。 1. イントロダクション 2. プラトン 3. アリストテレス 4. プロティノス 5. レッシング 6. ゲーテ 7. カント 8. シェリング 9. ヘーゲル 10. エマソン 11. ボードレール 12. ニーチェ 13. フィーodor 14. リルケ、ベルクソン 15. ハイデッガー					

科目名	④－2 美学史概説Ⅱ	担当教員	川瀬 智之	学 期	後 期
この授業では、近現代のドイツ・フランスと日本における美学の歴史を、各国の代表的哲学者、美学者、芸術家の思想を紹介、解説することによって辿る。場合によっては、それらの思想と、芸術作品との関連についても論じる。それによって西洋と日本の美学思想が、いかに具体的な芸術制作や鑑賞と関連を持っているかについて理解することができる。具体的な計画は以下の通り。 1. ペイター、クラーク 2. アラン 3. マリタン 4. バシュラール 5. ベンヤミン 6. サルトル 7. メルロ＝ポンティ 8. デュフレンヌ 9. マルティネ 10. アンリ 11. ダントー、ディッキー 12. 鈴木大拙 13. 唐木順三 14. 今道友信 15. 桑原武夫、鶴見俊輔					

科目名	⑤ 西洋美術史概説Ⅱ	担当教員	深田 麻里亜	学 期	前 期
中世末から近世末までの西洋美術史の流れを、代表的作品をとりあげ、背後にある理念とあわせて学びます。西洋世界の歴史をひもときながら、各時代でどのような作品が、どのように制作されてきたのかを考えていきます。様式の展開や、技法、主題内容を理解するうえで不可欠な古代ギリシア・ローマ神話、キリスト教思想についても確認し、作品と当時の人々の世界観の関わりについて、幅広い視野から考察し、理解を深めることを目指します。 1. ガイダンス、イントロダクション 2. 中世末 3. イタリア・ルネサンス1 4. イタリア・ルネサンス2 5. イタリア・ルネサンス3 6. イタリア・ルネサンス4 7. 北方ルネサンス 8. マニエリスム1 9. マニエリスム2 10. バロック1 11. バロック2 12. ロココ 13. 新古典主義・ロマン主義 14. 総括1 15. 総括2、試験 ※進捗状況によって内容が変更する可能性があります。					

2026年度 科目等履修生(一般)
対象科目講義概要一覧

科目名	⑥ 西洋美術史概説Ⅲ	担当教員	佐藤 直樹	学 期	後 期
西洋美術史におけるルネサンス以降から近代までの美術を講義します。アルプス以北の芸術家を中心に各時代の重要な作家、美術作品における様式的特徴、および芸術家同士の影響関係などが中心です。時代を追って見ていきますが、毎回、少数の作家とその作品を中心に引き上げ、作家名や作品名を学ぶことよりも、作品鑑賞の基礎を学びます。 1) ガイダンス: 古典古代と中世の美術 ルネサンスの古代復興とは何か？ルネサンス期に美の規範とされる「古典古代」の代表作を通してそのイメージを頭にいれる。また、ルネサンス以前の中世の様式、ロマネスクとゴシックの芸術を外観し、その違いを理解する。 2) ジョット: ルネサンス最初の光 ビザンチン美術の影響の下で生まれたジョット芸術の革新性を代表作から学びながら、中世の聖史劇が繰り広げた実際の舞台装置や役者の演技がジョットに影響を与えた可能性についても考察する。 3) 初期ネーデルラント絵画1: ロベルト・カンピンの再発見 北方におけるゴシック写実主義の極致がイタリア・ルネサンスの写実性をも向上させたことをロベルト・カンピンの作品を中心に学ぶ。かつ、弟子のロヒール・ファン・デル・ウェイデンとの様式の違いを明らかにする。 4) 初期ネーデルラント絵画2: ファン・エイク兄弟とその後継者たち 初期ネーデルラント絵画を代表するファン・エイク兄弟の《ハント祭壇画》に見られる写実表現の工夫に迫る。また、メモリンクやフーホー・ファン・デル・ブースに継承されたファン・エイクの写実技法(とりわけ鏡やカーテンモチーフ)についても考察する。 5) ラファエッロ: 苦労知らずの美貌の画家 ラファエッロは、レオナルドとミケランジェロを学びながらこの先輩画家たちを超える名声を手に入れた。その助けとなったのは、ラファエッロが版画という「ニュー・メディア」を通して、自作を世に広めようと考えたことによる。この版画の力を借りることで、ラファエッロ作品の名声は永遠に色褪せず、ラファエッロは古典的アイコンとして17-19世紀の美術アカデミーの手本となっていく。 6) デューラー: ドイツ・ルネサンスの巨匠 ドイツのルネサンス期を代表する画家アルブレヒト・デューラーの芸術が、初期ネーデルラント絵画とイタリア・ルネサンスの両方から学ぶことで完成していく過程を見ていく。長年の研究の成果「人体均衡論」や、描かれた岩山に「顔」のイメージを潜ませる不思議な創作の源泉がどこにあるのかも検討する。 7) レオナルド: イタリアとドイツで同時に起きていた美術革命 レオナルドとデューラーが同時に取り組んだ「世界終末のイメージ」「自然研究」「潜在的イメージ」「人体均衡論」について比較しながら、アルプス南北で同時に繰り広げられた国際様式ルネサンス美術を総体的に捉える。 8) カラヴァッジョ: バロックを切り開いた天才画家のリアル 殺人者にして天才画家、カラヴァッジョの作品を検討することで、ルネサンスとバロック美術の違いを理解する。爪の垢から汚れた足の裏まで、カラヴァッジョは、ルネサンスの理想化された非現実的な人体を捨て、現実生きる美しい男女をモデルとしたことなど、実物と見まごうばかりの写実性の理解を深める。 9) ピーテル・ブリューゲル(父): 中世的な世界観と新しい風景画 イタリア絵画の影響をほとんど受けず、ネーデルラントの伝統を受け継ぎながら風俗画の新機軸を打ち出したピーテル・ブリューゲル。本講義では、美術史家ハンス・ゼーデルマイアが提唱した有名な「ブリューゲルのマッキア(しみ)」理論からブリューゲルの造形原理に迫る。 10) ゲインズバラとレノルズ: 英国で花開いた「ファンシー・ピクチャー」 英国の美術は18世紀になると、オランダのレンブラント、フランスのロ可可美術が英国に導入され、飛躍的な進歩を遂げる。ゲインズバラとレノルズは「ファンシー・ピクチャー」と呼ばれる、肖像画とも風俗画ともつかない一種の混合画題の発明により肖像画の歴史に革命を起こした。この講義では、二人の画家を軸にファンシー・ピクチャーの誕生と展開を見ていくことにする。 11) 19世紀のローマ1: ナザレ派が起こした新しい風 19世紀、ウィーンのアカデミーの形骸化した美術教育に嫌気がさしたフリードリヒ・オーヴァーベックとフランツ・プフォルの二人は、美術史上最初の結社「聖ルカ兄弟団」(「ナザレ派」は彼らのあだ名)を結成する。彼らは、憧れのローマに移り住み共同生活を始めた。その様式は時代錯誤そのものであり、ルネサンス期のラファエッロを尊敬していた。ラファエッロが描いたようなフレスコ画を描くことを目指したドイツ人画家たちの思想と作品を学ぶ。 12) 19世紀のローマ2: アンゲルとその仲間たち フランス・アカデミーのローマ校に奨学生として滞在していたアンゲルは、ナザレ派と知り合うと、その時代錯誤的な様式から強い影響を受ける。風景画家のカラーも、ドイツの風景画家たちとローマ近郊のスケッチを一緒に行っていた。ドイツとフランスの画家たちのローマにおける親密な交流を検証しながら、芸術の都であったローマを学ぶ。 13) ジョン・エヴァレット・ミレイとラファエル前派: 「カワイイ」英国文化のルーツ ナザレ派の影響を受けて、英国でも中世美術やラファエッロ初期までの作品を手本とする「前ラファエル兄弟団」が結成される。その中心人物だったミレイの作風は、ラファエル前派に特徴的な中世的な様式から、次第にレノルズのような英国美術創成期の巨匠に倣ったものに変貌し、兄弟団から離れて、ロイヤル・アカデミーの重鎮になっていく。ミレイは英国の「可愛い」子供のイメージを量産し、現代の「カワイイ」文化の基礎を築いていく。 14) シャルフベックとハマスホイ: 北欧の不安な絵画 ムンクと同時代に活躍したフィンランドの女性画家シャルフベックは、フランス留学で学んだ印象派風な作品がある一方、暗く、強い不安を抱かせる私的感情に満ちた作品が圧倒的に記憶に残る作家である。戦争に翻弄され、亡くなる直前まで自分を鏡で見つめ、痩せ衰える姿を容赦無く描き続けた画家の生涯と作品を学ぶ。デンマークの画家ハマスホイは、オランダ黄金期のフェルメールやデ・ウィッデから学びつつ、モノクロームな色調で、それまでの明るいデンマークの室内画に革命を起こす。当時の国際的な潮流であった象徴派やホイッスラーから強い影響を受け、ナビ派やフェルナン・クノッップの画風とも共鳴していた。シャルフベックとハマスホイという二人の北欧画家が抱いていた不安の表現を理解する。 15) アンリ・ヴァン・デ・ヴェルデ: パウハウス前夜のモダニズム パリでデビューを飾ったベルギーの総合芸術家ヴァン・デ・ヴェルデは、その北方的な様式が野蛮だと批判にさらされます。しかし、ドイツでは高く評価され、ベルリンとヴァイマルを中心に活動を展開します。のちに、ヴァイマルで美術工芸学校を開校すると、それがパウハウスに繋がっていくのです。美術と工芸、デザインと建築が融合するモダニズム前夜の新しい様式を学びます。					

2026年度 科目等履修生(一般)
対象科目講義概要一覧

科目名	⑦－1 美学特講A	担当教員	林 卓行	学 期	前期
20世紀後半以降の現代美術について、具体的な作品に即しつつ、その批評(欧語原典を含む)を読解する。 これ以上の詳細は現時点で検討中。					

科目名	⑦－2 美学特講B	担当教員	林 卓行	学 期	後期
20世紀後半以降の現代美術について、具体的な作品に即しつつ、その批評(欧語原典を含む)を読解する。 これ以上の詳細は現時点で検討中。					

2026年度東京藝術大学美術学部
科目等履修生(一般)願書

フリガナ						男・女	【写真貼付】 ・タテ4cm×ヨコ3cm ・脱帽上半身正面向 ・出願前3ヶ月以内に撮影したもの	
氏 名								
生年月日	西暦 昭和・平成	年	月	日	(満 歳)			
本 籍 (都道府県・国名のみ)								
現住所 (連絡先)	〒 —							
電話番号			e-mail					
略 歴								
※本学出身者は 在学時の学生番号を記入	学部			修士			博士	
学 歴 (高校卒業から)	年	月						
	年	月						
	年	月						
	年	月						
	年	月						
職 歴	年	月						
	年	月						
	年	月						
賞 罰								

履修希望科目							※大学記入欄
科 目 名	期間	曜日	時限	担当教員名	単位数	備考	判 定
	☐ 前期 ☐ 後期						
	☐ 前期 ☐ 後期						
	☐ 前期 ☐ 後期						
	☐ 前期 ☐ 後期						
	☐ 前期 ☐ 後期						
	☐ 前期 ☐ 後期						

※ 該当する期間を ■ にしてください。

以上の記載事項のとおり相違ありません。

年 月 日 本人署名 :

入学検定料収納証明書提出用紙

太枠内を必ず記入すること。

受験区分	☒ 一般履修生 ☐ 資格履修生
フリガナ	
志願者氏名	
アルファベット	
自宅電話番号	
携帯電話番号	
メールアドレス	@

①コンビニエンスストアから支払をした場合

支払後に受け取る「取扱明細書」もしくは「取扱明細兼領収書」の「収納証明書」の部分を切り取り、
下記①欄に貼り付けること。

②クレジットカードで支払をした場合

支払後に指定の URL へアクセスして印刷した「取扱明細書」の「収納証明書」の部分を切り取り、
下記②欄に貼り付けること。

①	コンビニ支払 収納証明書貼付欄
---	--------------------

②	カード支払 収納証明書 貼付欄
---	-----------------------